

はこだて花かいどう ～20年目のおもてなし～

1 社会資本の概要

函館市は、函館山から観る夜景や五稜郭、異国情緒あふれる西部地区等多くの魅力的な観光資源を有し、国内外を問わず年間約500万人の観光客が訪れる日本を代表する観光地のひとつとなっています。

本取組の舞台である国道5号函館新道の石川町・桔梗町の地域は函館市の北部に位置し函館新道、

函館・江差自動車道及び函館新外環状道路のインターチェンジがあることから、陸路で函館へ訪れる方々をお迎えする玄関口となっています。

また、国道の沿線には、学校や商業施設が建ち並び、地域住民の生活道路としての役割も担っています。



国道5号函館新道情報板
「はこだて花かいどう活動20年」



国道5号函館新道の植樹帯
両側に咲く色とりどりの花

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

国道5号函館新道が開通したことを契機に「綺麗なお花を見て旅の疲れを癒やし、喜んでいただきたい」というおもてなしの気持ちを込め、参加者も親しみやすいよう「はこだて花かいどう」と愛称を付けて、平成16年度から花による道路の美化・清掃活動等を行っています。

お花が元気な状態で長く咲き続けるために、ミミズによる自然分解での堆肥づくりを取り入れたこと

で、春から秋まで綺麗に咲くようになり道路を利用される多くの方々に喜ばれています。

また、沿線企業や北海道開発局、函館市等と連携し、防災体験イベントを行っています。

冬季には、手作りワックスキャンドルやアイスキャンドルを設置し、地域住民や訪れる方々の目を楽しませる「シーニックdeナイト」に参加しています。



環境教育の一環
（堆肥場をつくるためミミズを採取）



防災展示コーナーを設置
体験イベント



冬の夜を彩るシーニックdeナイト

函館花いっぱい道づくりの会 北海道 函館市

3 活動の成果や波及効果等

平成16年の植栽時は約400名でスタートしましたが、20周年を迎えた令和5年は、職種や世代を超えて約800名が参加するまでに成長しました。

活動区間も約300mから約1kmと延長し、色とりどりのお花が道路景観を明るく演出しています。

冬季は、手作りワックスキャンドルやアイスキャンドルの灯りで歩道に彩りを与える、冬のおもてなし活動「シーニックdeナイト」が、道南地域で広く行われるようになり、令和6年2月は道南8か所で開催予定です。



幅広い世代が活動に参加



咲き終えた花を一つずつ
取り除きます



牛乳パックで作る
キャンドル作りの様子



アイスキャンドル

喜びの声



受賞者

函館花いっぱい道づくりの会
代表
折谷 久美子

コメント

この度の受賞で、はこだて花かいどうの活動を多くの方々に知っていただき大変嬉しく思っています。令和5年度活動20周年。長年活動を支えて下さった全ての皆さんに感謝するとともに、未来を担う子供たちにつなげていけるよう、これからも地域一体で取り組んでいきたいと思っています。

活動の内容

- 環境に配慮した植栽、維持清掃活動（資源循環型、CO₂削減、SDGsの取り入れ）
- 地域の子供たちへの環境教育
- 防災体験イベント等の実施

活動の経歴

平成16年 函館花いっぱい道づくりの会設立
平成18年 シーニックdeナイトへの参加開始
平成19年 北のまちづくり賞奨励賞（北海道知事）
平成22年 全国みどりの愛護功労者（国土交通大臣）
平成23年 函館市都市景観賞（函館市長）
令和 3年 道路功労者表彰（国土交通大臣）

所在地

北海道函館市石川町～桔梗町地区

活動主体及び連絡先

函館花いっぱい道づくりの会
TEL:0138-45-7576 FAX:0138-45-7701

対象となる社会資本

国道5号（函館新道）
※管理者 国土交通省北海道開発局
函館開発建設部



受賞記念発表会

手づくり郷土賞受賞記念 発表会の概要

手づくり郷土賞に選定された優れた地域づくり活動を広く紹介することにより、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が推進されることを目的に、「令和5年度受賞記念発表会」を開催しました。

発表会では、令和5年度の手づくり郷土賞受賞団体からプレゼンテーションをいただき、手づくり郷土賞選定委員会による審査と会場参加者による投票により、ベストプレゼン賞を決定しました。また、審査員特別賞も選定されました。

【手づくり郷土賞受賞記念発表会の概要】

日時: 令和5年 12月 23日(土)

13時00分～16時05分

場所: 東京国際交流館 プラザ平成

国際交流会議場

(東京都江東区青海2丁目2-1)

参加者: 約100人(オンライン視聴約280人)

【発表部門】

会場で団体がプレゼンテーションを実施

【動画部門】 ※今回はエントリーなし

団体が事前に作成したプレゼンテーション動画を会場で放映



会場の様子

手づくり郷土賞受賞記念 発表会の開催結果

1. 受賞団体によるプレゼンテーション

各団体から活動のプレゼンテーション(発表3分、質疑3分)をしていただきました。



プレゼンの様子



選定委員による審査

2. ベストプレゼン賞の決定方法

手づくり郷土賞選定委員による評価点と、会場参加者による投票数に応じた点数を合算した獲得点数を基に、選定委員による審査を行い決定。

〈評価のポイント〉

- ① 活動内容や活動の意気込みが伝わったか。
- ② プレゼンが工夫されていておもしろかったか。
- ③ 単なる観光地PRになっていないか。

3. ベストプレゼン賞等の発表・講評

すべての団体のプレゼンテーションが終わった後、集計・審査を行い、選定委員よりベストプレゼン賞及び審査員特別賞の発表を行いました。

最後に選定委員から講評をいただきました。

〈受賞団体の発表・感想〉

ベストプレゼン賞

■ 函館花いっぱい道づくりの会 (北海道 函館市)

令和5年度活動20周年を迎えた記念の年に、手づくり郷土賞とベストプレゼン賞まで頂きまして感無量です。トップバッターで緊張いたしました。長年の活動に想いを馳せ感謝しながら発表させていただきました。これからも大勢の方に笑顔を届けられるよう、きれいな道づくりを続けていきます。誠にありがとうございました。



ベストプレゼン賞

■ くしろ元町青年団 (北海道 釧路市)

日本随一の涼しい街・釧路市。その中でも釧路発祥の元町エリアは、海沿いに神社仏閣が立ち並ぶ美しい景観と、豊かな情緒あふれる自慢の地域です。

今回の手づくり郷土賞とベストプレゼン賞をいただけたことを励みに、石炭列車跡地の遊歩道化の実現などの夢を追いつけ、若さをチカラに変えて故郷のまちづくりに邁進します。



審査員特別賞

■ 下町惣門会 (熊本県 山鹿市)

この度の大賞受賞ならびに審査員特別賞、大変名誉なことで喜んでおります。最近では国内外からのお客様がSNSで情報を知りインターネットで予約してツアーに参加される時代になりました。ガイドも若い世代が活躍しています。思えば活動開始23年を迎えます。これからも永遠に続くストーリーを紡いでいきたいと思います。



全受賞団体との記念撮影